

## 群指数パターンによる解釈

☆ VIQ, PIQの値と対応する典型的なパターン

パターン①



得意

- ・視覚的な処理
- ・絵や図の理解や操作

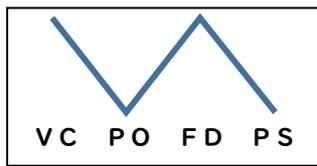
苦手

- ・聴覚的な処理
- ・ことばの理解や操作

〈支援例〉

- ・視覚的な手がかりを用いる。
- ・具体物を使用する。
- ・実践させる。

パターン②



得意

- ・聴覚的な処理
- ・ことばの理解や操作

苦手

- ・視覚的な処理
- ・絵や図の理解や操作

〈支援例〉

- ・ことばで説明を加える。
- ・ことばで定義づける。(例：図形の特徴をことばで説明する。)
- ・一つずつ順を追って説明する。

☆ 群指数1つが落ちているパターン

パターン③



得意

- ・視覚的な処理
- ・絵や図の理解や操作
- ・聴覚的な記憶（複雑な言語理解を伴わないもの）

苦手

- ・ことばの理解や操作

〈支援例〉

- ・視覚的な手がかりを用いる。
- ・具体物を使用する。実践させる。
- ・覚えるべき内容は、簡単なことばで分かりやすく伝える。

パターン④		
	得意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚的な処理</li> <li>・ことばの理解や操作</li> <li>・形を正確にとらえることや，視覚的な記憶</li> </ul>
	苦手	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形の操作，空間的な情報の把握・処理</li> </ul>
<p>〈支援例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばで説明を加える。</li> <li>・ことばで定義づける。(例：図形の特徴を言葉で説明する。)</li> <li>・一つずつ順を追って説明する。</li> <li>・頭の中だけで考えさせずに，(形の操作等では) 具体物を使う。</li> </ul>		
パターン⑤		
	得意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばの理解や操作</li> <li>・視覚的な処理</li> <li>・絵や図の理解や操作</li> </ul>
	苦手	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚的な記憶 (イメージや意味づけしにくいもの)</li> </ul>
<p>〈支援例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばで説明を加える。・ことばで定義づける。</li> <li>・視覚的な手がかりを用いる。</li> <li>・具体物を使用する。実践させる。</li> <li>・覚えるべき内容は，意味づけして覚えやすくする。</li> <li>・聴覚的な記憶を必要とする課題 (九九等) への支援・配慮を行う。</li> </ul>		
パターン⑥		
	得意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚的な処理</li> <li>・ことばの理解や操作</li> <li>・形の操作，空間的な情報の把握・処理</li> </ul>
	苦手	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的な記憶 (イメージや意味づけしにくいもの)</li> <li>・不器用さがある。</li> </ul>
<p>〈支援例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばで説明を加える。</li> <li>・ことばで定義づける。</li> <li>・視覚的な手がかりを用いる。</li> <li>・具体物を使用する。・実践させる。</li> <li>・覚えるべき内容は，意味づけして覚えやすく伝える。</li> <li>・巧緻性を伴う課題 (筆記等) への支援・配慮を行う。</li> </ul>		

☆ 群指数2つが落ちているパターン

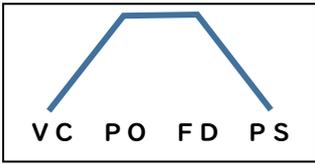
パターン⑦

	得意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚的な記憶（複雑な言語理解を伴わないもの）</li> <li>・形を正確にとらえることや、視覚的な記憶</li> <li>・継次的に処理すること</li> </ul>
	苦手	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連性の理解や類推など、複雑な処理（聴覚、視覚ともに）</li> </ul>

〈支援例〉

- ・一つずつ順を追って説明する。
- ・課題の内容を分かりやすく提示する。
- ・パターンを示す。

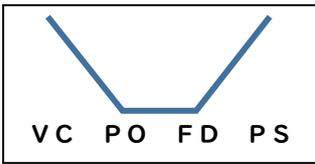
パターン⑧

	得意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形の操作，空間的な情報の把握・処理</li> <li>・聴覚的な記憶（複雑な言語理解を伴わないもの）</li> </ul>
	苦手	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばの理解や操作</li> <li>・視覚的な記憶（イメージや意味づけしにくいもの）</li> </ul>

〈支援例〉

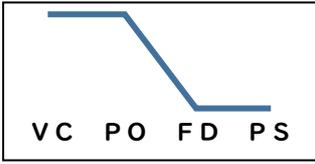
- ・視覚的な手がかりを用いる
- ・具体物を使用する。・実践させる。
- ・覚えるべき内容は，簡単なことばで分かりやすく伝える。

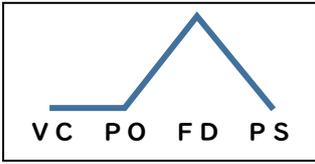
パターン⑨

	得意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばの理解や操作</li> <li>・形を正確にとらえること，視覚的な記憶。</li> </ul>
	苦手	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形の操作，空間的な情報の把握・処理</li> <li>・聴覚的な記憶（イメージや意味づけしにくいもの）</li> </ul>

〈支援例〉

- ・ことばで説明を加える。
- ・ことばで定義づける。
- ・覚えるべき内容は，意味づけをして，覚えやすくする。

パターン⑩		
	得意	<ul style="list-style-type: none"> <li>ことばの理解や操作</li> <li>形の操作，空間的な情報の把握・処理</li> <li>関連性の理解や，類推など，複雑な処理（聴覚，視覚ともに）</li> </ul>
	苦手	<ul style="list-style-type: none"> <li>聴覚的および視覚的な記憶 （イメージや意味づけしにくいもの）</li> </ul>
<p>〈支援例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ことばで説明を加える。ことばで定義づける。</li> <li>視覚的な手がかりを用いる。</li> <li>具体物を使用する。実践させる。</li> <li>覚えるべき内容は，意味づけをして，覚えやすくする。</li> </ul>		
☆ 群指数3つが落ちているパターン		
パターン⑪		
	得意	<ul style="list-style-type: none"> <li>ことばの理解や操作</li> </ul>
	苦手	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚的な処理・絵や図の理解</li> <li>聴覚的および視覚的な記憶 （イメージや意味づけしにくいもの）</li> </ul>
<p>〈支援例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ことばで説明を加える。ことばで定義づける。</li> <li>覚えるべき内容は，意味づけをして，覚えやすくする。</li> </ul>		
パターン⑫		
	得意	<ul style="list-style-type: none"> <li>形の操作，空間的な情報の把握・処理</li> </ul>
	苦手	<ul style="list-style-type: none"> <li>聴覚的な処理</li> <li>ことばの理解や操作</li> <li>視覚的な記憶（イメージや意味づけしにくいもの）</li> </ul>
<p>〈支援例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>視覚的な手がかりを用いる。</li> <li>具体物を使用する。実践させる。</li> <li>覚えるべき内容は，体験と結びつけて，覚えやすく伝える。</li> </ul>		

パターン⑬		
	得意	・聴覚的な記憶（複雑な言語理解を伴わないもの）
	苦手	・ことばの理解や操作 ・視覚的な処理，絵や図の理解や操作
<p>〈支援例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・覚えるべき内容は，簡単なことばで分かりやすく伝える。</li> <li>・課題の内容を明確にする。</li> <li>・パターンを示す。</li> </ul>		
パターン⑭		
	得意	・形を正確にとらえること ・視覚的な記憶
	苦手	・聴覚的な処理，ことばの理解や操作 ・形の操作，空間的な情報の把握・処理
<p>〈支援例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的な手がかりを用いる</li> <li>・課題の内容を明確にする。</li> <li>・パターンを示す。</li> </ul>		

## 言語理解（VC）が弱い子どもへの支援

### 【困難として考えられること】

- ことばを理解することが苦手
- ことばで表現することが苦手
- ことばを使って考えることが苦手

### 【認知特性から生じる困難例と支援の例】

	学習面	行動面・社会性
困難例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指示の理解が難しい。</li> <li>・ あることばを間違った意味で使うことがある。</li> <li>・ 文法的に不正確な言い方をする。</li> <li>・ 音読はできて、内容を理解していないことがある。</li> <li>・ 作文を書く際、内容的に乏しい。</li> <li>・ 文章題を解くのが難しい。</li> <li>・ 時間の概念を表すことばの理解が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言語的な指示が理解できず集団行動からはずれてしまいやすい。</li> <li>・ 日時や場所、約束等の理解と表現が不正確でトラブルになる。</li> <li>・ 事の流れや感情などをことばで説明できずに誤解されやすい。</li> <li>・ 会話に参加することが難しい。</li> </ul>
支援の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言語指示はやさしいことばで簡潔に、ゆっくり、はっきり伝える。</li> <li>・ 一度で理解できない時には指示を繰り返す。</li> <li>・ 集団指示を理解できない時には個別に言う。</li> <li>・ 絵や図、文字やモデルを示して伝える。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際の生活や場面と結びつける。</li> <li>・ 文章の内容を絵で示す。</li> <li>・ 作文を書く際、写真や資料などを手がかりとして与える。</li> <li>・ 文章題を解く際、キーワード（例：「あわせて」「のこりは」）に注目させる。</li> <li>・ 文章題の内容を絵や図で示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 約束は紙に書いて確認する。</li> <li>・ 絵や写真などを見ながらマンツーマンで会話の練習をする。</li> <li>・ あいさつや約束の取り決めなど、ロールプレイを通して練習をする。</li> </ul>

## 知覚統合（PO）が弱い子どもへの支援

### 【困難として考えられること】

- 目で見たことを理解することが苦手
- 動作で表現することが苦手
- 物事を空間的・総合的に処理することが苦手

### 【認知特性から生じる困難例と支援の例】

	学習面	行動面・社会性
困難例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞いた内容を頭の中でまとめることが難しい。（なぞなぞ等）</li> <li>・話している内容がまとまりにくい。</li> <li>・文章を要約することが難しい。</li> <li>・量を比較することが難しい。</li> <li>・形を弁別したり，構成したりすることが難しい。</li> <li>・図形の見取り図や展開図を描くことが難しい。</li> <li>・表やグラフにまとめることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や状況，相手の表情を理解できずその場に合った行動ができない。</li> <li>・位置や方向，場所などを間違えて，トラブルになる。</li> <li>・持ち物の整理や分類がしにくい。</li> <li>・社会的なルールが理解しにくい。</li> </ul>
支援の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばで説明する。</li> <li>・ひとつひとつ順を追って説明する。</li> <li>・位置や場所などは上下左右，順序，方向，目印などを言語化して確認する。 （例：上から○段目，右から△番目）</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部分から全体へ説明する。 （例：段落をおさえてから文章全体へ）</li> <li>・頭の中だけで操作させるのではなく，具体物を用いる。</li> <li>・図形の特徴などは，ことばで定義づける。</li> <li>・モデルを提示するときには，ことばを添えて説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や状況，その時の気持ちなどを分かりやすいことばで伝える。</li> <li>・ロールプレイを通して対人的な行動について練習する。</li> <li>・持ち物はしまう場所ごとに色分けした目印をつけておく。</li> <li>・ルールはことばを用いて一つずつ確認する。</li> </ul>

## 注意記憶（FD）が弱い子どもへの支援

### 【困難として考えられること】

- ことばや数をすぐに覚えることが苦手
- 数の操作が苦手
- 注意の集中や持続が困難

### 【認知特性から生じる困難例と支援の例】

	学習面	行動面・社会性
困難例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き間違いがある。</li> <li>・聞いたことをすぐに忘れる。</li> <li>・ちょっとした雑音でも注意がそれやすい。</li> <li>・促音や拗音などの特殊音を書き誤る。</li> <li>・書けないひらがなやカタカナがある。</li> <li>・簡単な計算が暗算でできない。</li> <li>・九九が暗唱できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の名前が覚えられない。</li> <li>・約束を覚えていられず、トラブルが生じやすい。</li> <li>・相手の話を最後まで集中して聞いていられない。</li> </ul>
支援の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注意の集中を促してから話しかける。</li> <li>・言語指示や説明は簡潔に行う。</li> <li>・一度で理解できない時には指示を繰り返す。</li> <li>・集団指示を理解できない時には個別に言う。</li> <li>・絵や図、文字やモデルを補助的に用いる。</li> <li>・覚える事柄を意味づけして覚えやすくする。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙を使って計算させる。</li> <li>・メモを活用する。</li> <li>・九九を覚えられない場合は、九九表を使ってよいことにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・覚えておくべきことをメモする習慣を形成する。</li> <li>・あいさつやよく用いる言い回しなどは、ロールプレイを通して練習をする。</li> </ul>

## 処理速度（P S）が弱い子どもへの支援

### 【困難として考えられること】

- 目で見たことをすぐ覚えることが苦手
- 形を正確にとらえることが苦手
- 物事を素早く処理することが苦手（目と手の協応の力）

### 【認知特性から生じる困難例と支援の例】

	学習面	行動面・社会性
困難例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書くのが遅い。</li> <li>・文字を視写することが難しい。</li> <li>・書く時の姿勢や鉛筆等の用具の使い方がぎこちない。</li> <li>・音読が遅い。</li> <li>・形態的に似た漢字を読み誤る。</li> <li>・演算記号（+，-，×，÷等）の理解が難しい。</li> <li>・計算が遅い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な物がすぐに見つけれられない。</li> <li>・授業の準備が間に合わない。</li> <li>・授業時間内に課題が終わらない。</li> <li>・板書を写し終えることができない。</li> <li>・活動のペースがゆっくりで、同学年集団の遊びについていけない。</li> </ul>
支援の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばで説明する。</li> <li>・覚える事柄を、意味づけして、覚えやすくする。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の特徴などは、ことばで定義づける。</li> <li>・課題に費やす時間を十分にとる。</li> <li>・文章を分かち書きにして示す。</li> <li>・文字は子どもが読みやすい大きさにする。</li> <li>・使いやすい筆記用具（鉛筆、消しゴム等）を用意する。</li> <li>・（黒板の字など）視写する量を減らす。 （例：ワークシートの使用）</li> <li>・写すべき見本をなるべく子どもの近いところに置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業によって必要な準備や用具のチェックリストを作る。</li> <li>・使う用途によって持ち物を色分けした目印を付けておく。</li> <li>・課題の優先順位を考え、授業時間内に行う課題を厳選する。</li> <li>・異年齢集団での活動を取り入れる。</li> </ul>

参考資料：「軽度発達障害の心理アセスメント ～WISC-Ⅲの上手な使用と事例～」

上野一彦 海津亜希子 服部美佳子 編 日本文化科学社